

令和4年度

事業計画書



社会福祉法人松伏町社会福祉協議会

令和4年度社会福祉法人松伏町社会福祉協議会事業計画

自 令和4年 4 月 1 日

至 令和5年 3 月 31日

1 基本方針

近年の地域を取り巻く環境は、少子・高齢化の進行による核家族化、住民同士のつながりの希薄化などによるコミュニティ機能の低下から社会的孤立が顕著になっています。また、生活困窮者の増加、児童虐待、ひきこもり、高齢者を狙った特殊詐欺等の問題など地域における生活課題は引き続き複雑かつ深刻化しています。松伏町においても人口の減少に加え、高齢化率29.9%（令和4年3月1日現在）となり、年々少子高齢化が進んでいる状況です。さらに、令和2年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響により、経済的に不安定な世帯の増加、地域活動の縮小などから高齢者がひきこもりがちになり、認知・身体機能の低下が心配されています。

このような社会情勢の中、社会福祉協議会は、地域住民や地域の団体が参画し、世代や分野を超えてつながり支え合うことで、住民一人ひとりの安心安全な暮らしと生きがいを目指す「地域共生社会」を創っていくため、自治会、ボランティア、民生委員・児童委員協議会等との協働のもと、やさしさと思いやりをもった事業展開が出来るよう、職員一丸となって取り組んでまいります。

2 重点事業

(1) ボランティアセンターの充実

新たな情報発信のツールとして、松伏町ボランティアセンターLINE公式アカウントを開設し、ボランティア活動の情報発信等に活用します。

(2) 買い物移動支援事業（新規）

交通の不便な地域にお住いで、買い物に行くことが困難な高齢者を商業施設まで送り、買い物を支援します。

(3) 指定管理施設の運営

松伏町から指定管理業務として受託している、かるがもセンター、ふれあいセンター、ふれあいデイサービス事業及び学童クラブについて、効率的で安全かつ利用者から信頼される管理運営を行います。

3 自主事業

(1) 組織強化

定款に基づき理事会、監事会、評議員会及び評議員選任解任委員会を適宜開催し、社会福祉法人としての適正な運営を行います。また、社会福祉協議会（以下「社協」という。）全体の組織強化を図るため、各所属において職員の研修への積極的な参加を促し、職員の資質向上に努めます。

- ・理事会、監事会及び評議員会の開催
- ・評議員選任解任委員会の開催
- ・職員研修への参加促進

(2) 会員募集

会員の増加に向けて、自治会を通して広く会員制度への理解と協力を求め、住民主体の地域福祉活動への会費還元事業や会費を財源とした会員サービスを実施します。関係諸団体や企業等に対しても、趣旨にご賛同いただき、団体会員あるいは特別会員の加入が促進されるよう、理事、監事及び評議員の方々の協力を得ながら、積極的に会員募集活動を推進し、今後とも、会費納入・加入方法の多様化を図ります。

- ・会員募集（強化月間：7月から9月まで）

(3) 情報提供・啓発事業

社協が行う様々な事業やボランティア募集の他、法人組織運営や指定管理施設の事業に至るまで、社協の取組を広く周知するため、広報紙「社協だより」や「ボランティアセンターだより」を町内へ全戸配布し、公共施設窓口へ配置するとともに、ホームページやフェイスブックで情報を随時発信します。また、会員の増加に向けて、地域住民の理解と協力を得るため、イベント等への参加を通して社協の役割や取り組みを広くPRいたします。

- ・社協だよりの発行（年4回）
- ・ボランティアセンターだよりの発行（年3回）…松伏町から一部補助あり
- ・ホームページ、フェイスブックによる情報発信
- ・町民まつり等への参加
- ・松伏町ボランティアセンターLINE公式アカウントの開設（新規）

(4) 財源対策

会費、募金及び収益事業として自動販売機の設置並びに社協だより広告

掲載主を募り、地域福祉事業の推進に必要な自主財源を確保します。特に、会費、募金については、社会情勢の変化により、会費加入率や募金実績額が大変厳しい状況にあります。地域住民や事業者の皆様から、より一層の理解と協力を得られるよう努めることはもとより、新たな自主財源の確保を模索してまいります。

- ・自動販売機設置事業
- ・社協だよりの広告掲載
- ・まつぶし一円玉募金運動

(5) 高齢者福祉事業

誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを実現するため、民生委員・児童委員協議会と連携し、支援を必要とする高齢者等の恒常的な把握や地域の身近な支援者の連携による見守り活動を推進するとともに、定期的により多くの人とより密度の高い関わりが持てる事業を行います。また元気な高齢者が日常生活をより充実させ、家庭や社会でいきいきと暮らせるような取り組みを行います。また、新規事業として、交通の不便な地域にお住いで日常的に買い物に行く事が困難な高齢者を対象に、送迎車両を利用して、町内商業施設へお連れし、買い物をサポートする事業を行います。

- ・認知症啓発事業（オレンジカフェ）
- ・認知症予防事業（認知症予防ケア教室）
- ・ふれあい・いきいきサロン事業（健康マージャンサロン）
- ・高齢者日帰り旅行事業
- ・ひとり暮らし高齢者歳末激励事業（民生委員・児童委員協議会との協働事業）
- ・紙おむつ配布事業…松伏町から一部補助あり
- ・買い物移動支援事業（新規）…松伏町から一部補助あり

(6) 障がい者福祉事業

障がい者が地域で安心して暮らせる社会の実現を目指し、障がい者一人ひとりの自立と社会参加を促進するため、関係団体の活動支援、情報交換、啓発活動及び交流の場を提供します。

- ・居宅介護（ホームヘルプサービス）事業
 - ・障がい者団体交流事業
 - ・障がい者団体助成事業
 - ・紙おむつ配布事業
 - ・視覚障がい者朗読奉仕事業
- } …松伏町から一部補助あり

- ・障がい者等移動支援事業…受託事業

(7) 介護保険事業

指定居宅介護支援事業所（ケアプラン作成）、指定訪問介護事業所及び介護予防・日常生活支援総合事業指定事業者（ホームヘルプサービス）として、サービスの質の向上を目指します。利用者からの相談や苦情に対しては適切に対応し、公正、中立な解決に努めます。

また、介護保険利用者に限らず、在宅介護に関する相談について、介護支援専門員（ケアマネージャー）が対応します。

- ・居宅サービス計画（ケアプラン）の作成
- ・訪問介護・第1号訪問事業（ホームヘルプサービス）の提供
- ・ホームヘルパー現任研修
- ・要介護認定訪問調査受託事業
- ・住宅改修・福祉用具購入申請手続き業務
- ・介護相談

(8) 子育て支援事業・児童福祉事業

少子化の傾向が続く中、子どもが巻き込まれる事件事故、児童虐待等の問題が起きています。核家族化や地域社会の希薄化も要因の一つと考えられていますが、このような状況を踏まえ、児童・青少年の健全育成を促進し、子育て支援を推進するため、ボランティア、民生委員・児童委員協議会等との連携・協働により、地域で子ども達を見守る体制や機会を設け、安心して子育てができる地域社会づくりに努めます。また、新規事業として、フードパントリーを実施している団体を支援し、ひとり親家庭への支援を行っていきます。

- ・子育て支援事業（生活困窮世帯への支援に向けての調査・研究）
- ・夏休み小学生体験学習事業（わくわくの実）
- ・危険箇所看板設置事業
- ・ひとり親家庭図書カード配布事業
- ・新生児絵本配布事業
- ・フードパントリー支援事業（新規）…松伏町から一部補助あり

(9) 生活福祉事業

経済情勢の変化による経済不安の中、生活困窮者等からの貸付相談が増加し、その相談内容は多種多様化しています。生活困窮者等への経済的支

援として資金貸付はありますが、就労等の生活意欲を向上させることも必要です。今後も民生委員・児童委員協議会や関係機関との連携により、生活全般の支援を行います。

- ・福祉資金貸付事業（小口資金貸付事業）
- ・歳末たすけあい援護金事業
- ・あったかギフト（食料の支援）
- ・フードパントリー支援事業（再掲）…松伏町から一部補助あり

（10）地域福祉振興事業

高齢者をはじめ地域住民が安心して生活できる地域社会づくりを目指し、地域の中でいきいきと暮らせるよう、ボランティア及び地域住民等の協力を得ながら、参加者同士が気軽に話し合える場として展開している、ふれあい・いきいきサロン事業を始め、住民参加、住民主体を基本理念とする様々な地域福祉事業を推進します。

- ・小地域福祉活動助成事業
- ・福祉車輛・福祉機器貸出事業
（スロープ付車両、車椅子、松葉杖の貸出）
- ・救急医療情報キット設置事業
- ・ふれあい・いきいきサロン事業（再掲）
（健康マージャンサロン開催）
- ・認知症予防事業（認知症予防ケア教室）（再掲）
- ・世代間交流事業（幼稚園、保育園への助成）…松伏町から一部補助あり

（11）在宅福祉事業

高齢者や障がい者等が可能な限り在宅で自立した生活を送ることができるよう援助する事業を実施し、利用者の社会参加の促進、生活支援、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持向上を図ります。

さらに、認知症の方の居場所づくりや、介護者家族の相談の場を提供するとともに、認知症予防、介護予防の推進と地域のネットワークの構築を図ります。

- ・認知症啓発事業（オレンジカフェ事業）（再掲）
- ・認知症予防事業（認知症予防ケア教室）（再掲）
- ・在宅傾聴訪問活動
- ・介護相談
- ・歳末大掃除事業

- ・紙おむつ配布事業（高齢者、障がい者（児））…松伏町から一部補助あり（再掲）

（12）ボランティア活動及び福祉教育事業

ボランティア活動は、自ら進んで考え、身近な問題に取り組む活動です。

ボランティアセンターでは、活動内容や活動方法も多種多様にあるため、自分にできる活動を無理なく継続できるよう相談に応じ、情報提供やボランティア募集、研修等を行います。さらに、ボランティアグループの活動支援や社会福祉施設からのボランティア派遣依頼の調整を行います。

福祉教育事業につきましては、社会福祉施設職員、ボランティア、教員等の連携・協働が必要なことから、情報交換の場を提供し、児童・生徒の福祉に対する理解を深める体験プログラムづくり等を実施します。

- ・ボランティアセンター運営委員会の開催
 - ・福祉の心を育む交流事業
 - ・ボランティアグループ間の連携づくり
 - ・災害ボランティアセンター設置の取り組み及び被災地支援活動
 - ・ボランティアグループ活動助成事業
 - ・ボランティアスクール
 - ・福祉協力校助成事業
 - ・彩の国ボランティア体験プログラム事業
 - ・松伏町ボランティアセンターLINE公式アカウントの開設（再掲）
- } …松伏町から一部補助あり

（13）顕彰事業

地域福祉の向上に貢献した個人・団体や福祉事業への寄付者を地域住民の模範として埼玉県社会福祉大会に推薦して感謝の意を表し、福祉のまちづくりを推進します。

- ・社会福祉事業功労者の表彰
- ・篤志寄付者の表彰

（14）福祉サービス苦情解決等の体制整備

社協が提供する福祉サービスについて、利用者からの苦情に対し、利用者の立場及び特性に配慮した適切な対応を行うことにより、利用者の権利を擁護するとともに、福祉サービスの快適な利用を支援します。

また、地域住民等からの意見、要望等を聴くことにより、社協事業の改善を図ります。

- ・福祉サービス苦情解決に関する窓口の設置（第三者委員の配置）

- ・福祉の声ボックス

(15) 資産の活用

基金積立金について最も確実かつ有利な方法として定期預金で保管します。

4 埼玉県社会福祉協議会からの受託（協力）事業

(1) 福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）

悪質な訪問販売等の被害が増えるなど、様々な脅威にさらされている判断能力の低下した高齢者や障がい者の権利が侵害されないよう、日常生活を営む上で必要となる福祉サービスの利用等について援助を行うことで、地域での自立した生活を支援します。実施に当たっては、生活支援員を委嘱するなど、利用者数に応じた体制整備を行い、定期的なサービスを適正かつ公正に提供します。

- ・福祉サービス利用援助（定期訪問、相談、書類整理等）
- ・日常生活上の手続援助（事務手続き等援助）
- ・日常的金銭管理（生活費の出し入れ、公共料金の支払い等）
- ・書類等預かりサービス（証書類等の保管）

(2) 生活福祉資金貸付事業への協力

低所得、障がい者、高齢者世帯に対し、自立更生を支援するために資金貸付を行います。

- ・臨時特例つなぎ資金
- ・総合支援資金
- ・福祉資金（福祉費・緊急小口資金）・教育支援資金
- ・不動産担保型生活資金・要保護世帯向け不動産担保型生活資金
- ・埼玉県障害者福祉資金

(3) 自立相談支援事業への協力

生活困窮者からの相談に、早期かつ包括的に応じる相談窓口です。関係機関との連絡調整や支援の実施状況の確認なども行います。

(4) 彩の国あんしんセーフティネット事業への協力（生活困窮者支援）

各種制度の狭間などにより生活困難に直面している方に対し、埼玉県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会に加入している町内の会員施設と協

働し、関係機関と連携を図りながら、自立を目標に、継続的な相談・支援や見守りを行います。

(5) 共同募金事業への協力

10月1日から全国的に赤い羽根共同募金運動や歳末たすけあい募金運動が実施されることに伴い、埼玉県共同募金会と連携し、自治会の協力による戸別募金、ボランティア団体及び高等学校の協力による街頭募金等を実施します。

募金の実施に当たっては、地域住民や企業等に対して、運動の意義や必要性及び募金使途を十分に周知するとともに、助け合いの精神の助長に努めながら、募金活動への理解と協力を求めます。

- ・共同募金運動事業（赤い羽根・歳末たすけあい・災害義援金）

5 松伏町からの受託事業及び指定管理業務

効率的な事業、管理運営を行うとともに、利用者（児童）等が安心安全にサービスや施設をご利用いただけるよう、消毒液、非接触型体温計を引き続き設置し、物品等の消毒、換気、手洗い及びうがい等の指導を徹底することで、感染防止に努めていきます。

(1) 受託事業

① 移動支援事業の受託経営

障がい者（児）の社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動等社会参加のため、ホームヘルパーが移動支援を行います。

② 心配ごと相談所開設事業【資料No.1 参照（P11）】

気軽に利用できる身近な相談所として、弁護士による専門的な法律相談及び民生委員や学識経験者による日常生活における悩み事相談を開設し、地域住民の抱える様々な問題に幅広く対応することで相談者の問題解決を援助します。

- ・法律相談の実施（月2回）
- ・心配ごと相談の実施（月1回）
- ・相談員研修の実施（年1回）

③ 高齢者軽度生活支援サービス事業

介護保険に該当しない概ね65歳以上の高齢者に対しホームヘルパ

一を派遣することで、日常生活の利便を図り、自立した生活を支援します。

④ 生活支援体制整備事業

高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持ち健康的な生活ができるよう、生活支援コーディネーターが、地域住民や自治会・町会との関係強化と連携を図り、介護予防効果と健康寿命延伸のための仕組みを地域へ導入する支援、地域住民の相互扶助の関係づくりの支援と強化に努めます。

今年度は「LINE ビデオ通話講座」の範囲を広げ、オンライン会議のアプリケーションソフト Zoom ミーティングの使い方などにも対応し、コロナ禍であっても“会うことができる”支援を強化します。

- ・ LINE ビデオ通話使い方講座
- ・ 買い物移動支援事業（再掲）

(2) 指定管理業務

① 松伏町立かるがもセンター（指定障がい福祉サービス事業所）

（令和3年度から令和7年度までの5年間）【資料No.2 参照（P12～14）】

障がいのある方が地域の中で活動し生活することを目的として、利用者一人ひとりの状況を踏まえながら、自己実現、自立生活及び社会参加を支援します。自主性・主体性を尊重し、集団生活や作業活動等への参加を通して生活の広がりを目指しながら活動に取り組んでいきます。

<就労継続支援B型>

一般企業等での就労が困難な障がいのある方に就労の機会を提供し、必要な訓練を日々行い、就労に向けた能力向上を図るとともに、様々な地域交流や社会参加活動も行います。

<生活介護事業>

常に介護を必要とする障がいのある方に、身体機能の維持向上を図ることを目的として、日常生活上の自立支援、生活相談や助言を行うとともに、創作活動や社会参加活動の機会を提供し、生活能力の向上に必要な援助を行います。

② 松伏町ふれあいセンター

（令和3年度から令和5年度までの3年間）

ふれあいセンター設置及び管理条例の規定に基づき、介護予防事業を実施するとともに、介護知識及び介護方法の普及等を図るため、健康づくりの拠点として利用者の利便性の向上と安全で快適な施設利用に配慮し、管理運営を行います。

また、ふれあいホールは、世代を超えたふれあい、地域におけるつながりをつくれるよう、誰もが自由に利用できる憩いの場として提供します。

③ ふれあいデイサービス

(令和3年度から令和5年度までの3年間)【資料No.3 参照 (P15)】

ふれあいセンターを拠点として、利用者の介護予防、健康保持を図るため、日々の健康状態を把握するとともに、趣味、生きがい活動や日常動作訓練、レクリエーション、保育所との交流等を行います。利用者の満足を第一に考えて、利用者の生きがいの一つ、心の支えとなるような暖かみのあるサービス提供を目標とし、事業やイベントを実施します。

④ 学童クラブ

(令和3年度から令和7年度までの5年間)【資料No.4 参照 (P16～17)】

家庭的な雰囲気の中で児童の自主性、主体性を重んじ自由でのびのびとした保育を行うと共に、集団で生活することにより社会性を身に付けさせることを方針とし以下の事業を実施します。

- ・ 放課後児童クラブにおける保育
- ・ 学校休業日における一日保育
- ・ 土曜学童クラブ (5学童持ち回りにより45日開設)
- ・ 職員の資質向上のための研修 (中堅者研修、PC研修、接遇研修、救急救命講習)

心配ごと相談所開設事業

基本方針

法律相談では弁護士を相談員とし、地域における相談員には民生委員や学識経験者を委嘱し、広く住民の日常生活上のあらゆる相談に応じ、適切な助言、援助を行い、地域住民の福祉の増進を図ります。

- 重点事業
- 1 あらゆる相談への適切な対応
 - 2 相談員研修の実施
 - 3 住民への事業周知

予約受付開始日	相談日	内 容	時 間	会 場
4月5日(火)	4月18日(月)	法律相談・心配ごと相談	13:20～	ふれあいセンター 介護相談室
	4月27日(水)	法 律 相 談	15:50	
5月6日(金)	5月17日(火)	法律相談・心配ごと相談	13:20～	ふれあいセンター 介護相談室
	5月27日(金)	法 律 相 談	15:50	
6月6日(月)	6月17日(金)	法律相談・心配ごと相談	13:20～	ふれあいセンター 介護相談室
	6月27日(月)	法 律 相 談	15:50	
7月5日(火)	7月19日(火)	法律相談・心配ごと相談	13:20～	ふれあいセンター 介護相談室
	7月27日(水)	法 律 相 談	15:50	
8月5日(金)	8月17日(水)	法律相談・心配ごと相談	13:20～	ふれあいセンター 介護相談室
	8月26日(金)	法 律 相 談	15:50	
9月5日(月)	9月16日(金)	法律相談・心配ごと相談	13:20～	ふれあいセンター 介護相談室
	9月27日(火)	法 律 相 談	15:50	
10月5日(水)	10月17日(月)	法律相談・心配ごと相談	13:20～	ふれあいセンター 介護相談室
	10月27日(木)	法 律 相 談	15:50	
11月7日(月)	11月17日(木)	法律相談・心配ごと相談	13:20～	ふれあいセンター 介護相談室
	11月28日(月)	法 律 相 談	15:50	
12月5日(月)	12月16日(金)	法律相談・心配ごと相談	13:20～ 15:50	ふれあいセンター 介護相談室
1月5日(木)	1月17日(火)	法律相談・心配ごと相談	13:20～	ふれあいセンター 介護相談室
	1月27日(金)	法 律 相 談	15:50	
2月6日(月)	2月17日(金)	法律相談・心配ごと相談	13:20～	ふれあいセンター 介護相談室
	2月27日(月)	法 律 相 談	15:50	
3月6日(月)	3月17日(金)	法律相談・心配ごと相談	13:20～	ふれあいセンター 介護相談室
	3月27日(月)	法 律 相 談	15:50	

松伏町立かるがもセンター事業計画
(就労継続支援 B 型事業所・生活介護事業所)

■基本方針

利用者一人ひとりが健康で安心して安全に通所できる体制を整備し、個々の特性を踏まえた支援計画を定め、個別目標の達成に向けた日常生活の自立支援や社会参加活動を促進し、利用者家族や保護者の集いをはじめ地域や関係機関と連携し、障がい福祉サービスの質の向上を図ります。

【就労継続支援 B 型事業所】

■重点目標

- 1 利用者家族及び保護者の集いとの連携強化
- 2 自主製品の販売促進、受託業務の確保及び拡充開拓
- 3 就労移行に向けた知識、技能の習得及び企業体験や現場実習の実施
- 4 研修や個別検討を通じた支援力の向上及び積極的な資格取得・自己研鑽

の勸奨

- 5 感染予防対策の徹底

■事業内容

(1) レクリエーション活動及び交流事業

- ① 外出事業 (月 1 回程度)
- ② カレーパーティー (7 月)
- ③ クリスマス会 (12 月)
- ④ 新年会事業 (1 月)
- ⑤ 町立第一保育所との交流事業 (夏まつり、お別れ会等)
- ⑥ 介護福祉施設三戸里園との交流事業 (相互訪問による交流)
- ⑦ 介護老人保健施設なのはなの里との交流事業 (施設訪問による

レク

リエーション交流)

- ⑧ 認定こども園こどものもりとの交流事業
- ⑨ その他レクリエーション活動 (カラオケ、プール、調理実習、

季節

行事等)

- ⑩ ボランティア活動 (日中活動及び交流事業への協力)

(2) 健康管理事業

- ① 定期健康診断（月1回）
- ② 歯科検診（年1回）
- ③ 保護者向けの歯科講習会（年1回）

(3) 自主製品生産活動等収益事業

- ① かるちゃん石鹸、小物等の製作及び販売、資源回収、農作物販売

(4) 就労支援事業

- ① 就労継続支援A型事業所等の実習、見学実施（随時）

(5) 社会参加事業

- ① 埼葛人権を考えるつどいへの参加
- ② まつぶし町民まつりへの参加
- ③ 社会体験外出事業

(6) その他の事業

- ① 消防・防災訓練（年2回）及び避難訓練（月1回）の実施
- ② 特別支援学校現場実習受入（随時）
- ③ 中学生社会体験チャレンジ事業受け入れ（松伏中、松伏第二中）

【生活介護事業所】

■ 重点目標

- 1 利用者家族及び保護者の集いとの連携強化
- 2 日中活動及び健康増進活動の促進
- 3 社会参加の機会拡充及び余暇活動の充実
- 4 研修や個別検討を通じた支援力の向上及び積極的な資格取得・自己研鑽

の勸奨

- 5 感染予防対策の徹底

■ 事業内容

(1) レクリエーション活動及び交流事業

- ① 外出事業（随時）
- ② 誕生会（適宜）
- ③ カレーパーティー（7月）
- ④ クリスマス会（12月）
- ⑤ 新年会事業（1月）
- ⑥ 町立第一保育所との交流事業（夏まつり、さつまいも掘り、お

別れ

会等)

⑦ 介護福祉施設三戸里園との交流事業 (相互訪問による交流)

⑧ 介護老人保健施設なのはなの里との交流事業 (施設訪問による
レク

リエーション交流)

⑨ 認定こども園こどものもりとの交流事業

⑩ その他レクリエーション活動 (クラブ、プール、調理実習、季節行

事等)

⑪ ボランティア活動 (日中活動、クラブ活動及び交流事業等への
協力)

(2) 健康管理事業

① 定期健康診断 (月1回)

② 歯科検診 (年1回)

③ 保護者向けの歯科講習会 (年1回)

(3) 自主製品等収益事業及び創作活動

① 野菜、資源回収、編み物、ビーズ、タペストリー等の製作

(4) 社会参加事業

① 埼葛人権を考えるつどいへの参加

② まつぶし町民まつりへの参加

(5) その他の事業

① 消防・防災訓練 (年2回) 及び避難訓練 (月1回) の実施

② 特別支援学校実習受入 (随時)

③ 中学生社会体験チャレンジ事業受け入れ (松伏中、松伏第二中)

ふれあいデイサービス

■基本方針

日常の健康管理を要する高齢者に対し、交流の場の提供、介護予防、健康の保持などのため、通所によるサービスを提供することにより、高齢者の健康、生きがいづくりの推進を図る。

■重点事業

- 1 健康管理事業
- 2 生きがいづくり事業
- 3 地域交流事業
- 4 季節事業

月	特 別 行 事	そ の 他
4	お誕生日会	・絵手紙ボランティア活動等 ・認知症ケア教室参加
5	第一保育所交流事業 お誕生日会	
6	お誕生日会	
7	七夕まつり・ゆたか保育園交流事業 第一保育所交流事業	
8	夏まつり	
9	お誕生日会・敬老会 ゆたか保育園交流事業	
10	ゆたか保育園交流事業	
11	ゆたか保育園交流事業	
12	お誕生日会 クリスマス会・第一保育所交流事業	
1	お誕生日会	
2	節分 お誕生日会	
3	ひなまつり お誕生日会	

学 童 ク ラ ブ

1 基本方針

家庭的な雰囲気の中で児童の自主性、主体性を重んじ自由でのびのびとした保育を行うと共に、集団で生活することにより社会性を身に付けさせる。

2 重点目標

- (1) 保育方針の周知と 5 学童クラブの適切な運営
- (2) 児童の自主性・主体性を大切にした保育
- (3) 保護者等との信頼関係の醸成
- (4) 事故防止と説明責任の果たせる金銭管理、事務の効率化
- (5) 服務規律の確保

3 事業の概要及び実施時期

	いるか	りす	杉の子	どんぐり	なごみ
4月	対面式 誕生会	対面式 誕生会	歓迎会 お花見	自己紹介 対面式 お花見	歓迎会・対面式
5月	誕生会	誕生会	避難訓練	避難訓練	
6月	誕生会	誕生会		誕生会	
7月	七夕まつり 流しそうめん 夏祭り 避難訓練 誕生会	七夕まつり 避難訓練 誕生会	七夕まつり 誕生会	七夕飾り 習字教室 ミサンガ作り	七夕・読み聞かせ 避難訓練

	いるか	りす	杉の子	どんぐり	なごみ
8月	交通安全教室 プラ板ストラ ップづくり ミサンガ作り ミニモップ作 り 買物体験 児童主催のイ ベント 誕生会	アロマポット 作り プラ板作り 夏祭り・縁日 誕生会	夏祭り レジンキーホ ルダー作り しおり作り アロマポット 作り マスコット作 り	スライム教室 アイロンビー ズ作り プラ板作り 夏のお楽しみ 会	プラ板教室 買物体験 ミニモップ作 り お店屋さんご っこ
9月	誕生会	誕生会	避難訓練	バルーン教室	誕生会
10月	ハロウィンパ ーティー 誕生会	誕生会 ハロウィン	ハロウィン	避難訓練 ハロウィン	ハロウィンパ ーティー
11月	誕生会	誕生会 避難訓練	遠足（キッザ ニア） 誕生会	徒歩遠足	遠足 避難訓練
12月	避難訓練 クリスマス会 誕生会	誕生会 クリスマス会	クリスマス会 お楽しみ会	誕生会 お楽しみ	クリスマス会
1月	誕生会	誕生会	初詣	避難訓練	初詣
2月	節分 誕生会	節分 誕生会	豆まき 避難訓練	節分	節分
3月	お別れ遠足 誕生会	ひな祭り 誕生会 お別れ遠足	誕生会 お別れ会	お別れ遠足	誕生会 進級お祝い会
	入室説明会				